

第2回意見聴取の結果

1) 意見聴取の概要	・ ・ ・	1
2) 第2回意見聴取の結果	・ ・ ・	2
3) アンケート回答者属性	・ ・ ・	3
4) ルート帯（案）を検討する際に特に重視すべき項目	・ ・ ・	4
5) ICなど周辺からのアクセスを検討する際に配慮すべき事項	・ ・ ・	9
6) 道路を整備することによる懸念事項	・ ・ ・	12
7) 第2回意見聴取の結果のとりまとめ	・ ・ ・	14

ご協力ありがとうございました。

1) 意見聴取の概要

■調査期間

《アンケート調査》平成31年2月～3月
 《ヒアリング調査》平成31年2月～令和元年8月
 《ワークショップ》令和元年7月～令和元年9月

■聴取方法

《アンケート調査》
 ①住民は全戸郵送配布、事業所は郵送配布
 ②市町役場や道の駅等へのアンケート用紙の設置
 ③HP上でのWEBアンケート
 《ヒアリング調査》
 訪問し、対面方式にて実施
 《ワークショップ》
 地域住民や業界関係者にて意見交換を行い、グループ毎にとりまとめを実施

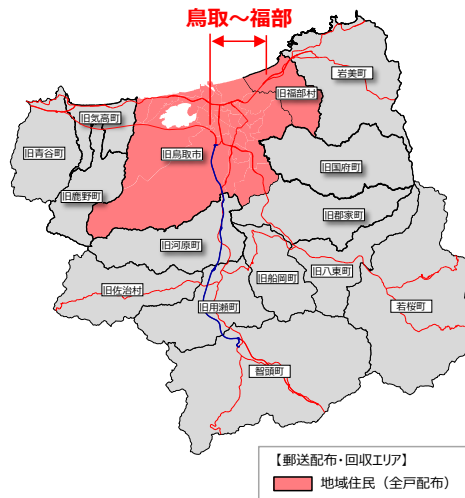
■対象

下表のとおり

住民アンケート: 約70,600世帯		
鳥取市	旧鳥取市	約69,600世帯
	旧福部村	約1,000世帯
事業所アンケート: 約4,200社		
鳥取東部地域(鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町) 等		
道路利用者アンケート: 21箇所		
常設	観光施設、道の駅、空港	14箇所
	自治体、国土交通省	7箇所
ヒアリング: 51団体		
自治体、商工会議所・商工会、警察署、消防署、港湾、病院、農協、漁協、地元企業・工場、観光協会、タクシー協会、バス協会及びバス事業者、トラック協会、運送業者		
ワークショップ: 89名		
地域住民及び経済等業界団体関係者		

■アンケート配布範囲

【住民アンケート調査対象エリア】



■質問内容

【アンケート質問票】

(ご回答は、『回答はがき』に記載してください)

質問1 今回、3つのルート帯(案)を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要とと思いますか？

以下の重視すべき項目①～⑭から、特に重視すべきと思われる項目について、最大3つまで選んでいただき、番号とその理由や内容をお書きください。

- ① 渋滞が緩和できること
- ② 交通事故が起きにくいこと
- ③ 自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること
- ④ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
- ⑤ 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること
- ⑥ 農林水産物の生産拠点などから消費地までの時間を短縮し、市場を拡大すること
- ⑦ 高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること
- ⑧ 移動の利便性向上により、周遊性が向上すること
- ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと
- ⑩ 景観への影響が少ないこと
- ⑪ 人口集中地区を極力さけること
- ⑫ 工事中の交通渋滞の影響が少ないこと
- ⑬ 道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと
- ⑭ その他(上記以外で重視すべき項目についてご自由にお書きください)

質問2 インターチェンジなど周辺からのアクセスを検討する際に、どのようなことに配慮すべきとと思いますか？ご自由にお書きください。

質問3 道路を整備することによる懸念事項(生活環境、自然環境等)がありましたら、ご自由にお書きください。

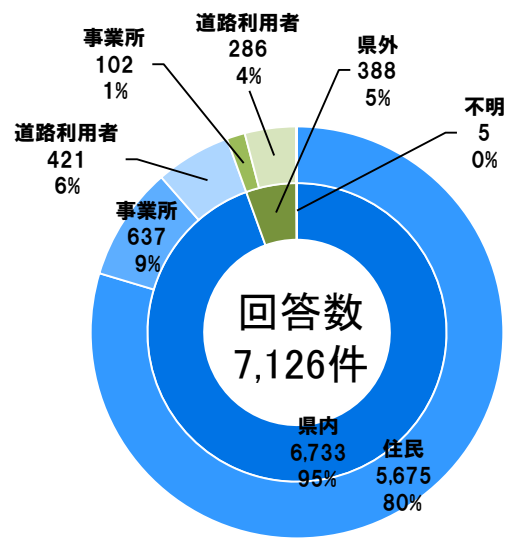
2) 第2回意見聴取の結果

調査種別	対象者	実施期間	回収方法	対象地域・団体等	回収件数	
アンケート	住民	平成31年2月15日 ～3月15日	郵送	鳥取市（旧鳥取市、旧福部村）在住の住民（70,560世帯）	5,471 (回収率:7.8%)	
			WEB	鳥取河川国道事務所のホームページにWEBアンケート掲載	206	
	小計					5,677
	事業所	平成31年2月15日 ～3月15日	郵送	鳥取県内外の企業（4,185事業所）	729 (回収率:17.4%)	
			WEB	鳥取河川国道事務所のホームページにWEBアンケート掲載	12	
	小計					741
	道路利用者	平成31年2月1日 ～3月15日	常設	道の駅、官公庁等にてアンケートを設置（21箇所）	138	
			WEB	鳥取河川国道事務所のホームページにWEBアンケート掲載	92	
			インタビュー	道の駅、観光施設にてインタビュー形式による聞き取り調査	475	
			オープンハウス	鳥取市役所駅南庁舎、イオンモール鳥取北で開催 オープンハウスへの来場者数 ※回収件数合計には含まず	3 782	
	小計					708
	合計					7,126
ヒアリング	関係自治体 及び団体	平成31年2月8日 ～令和元年8月2日	ヒアリング (対面方式)	自治体、商工会議所・商工会、警察署、消防署、港湾、病院、農協、漁協、地元企業・工場、観光協会、タクシー協会、バス協会及びバス事業者、トラック協会、運送業者	51団体	
ワークショップ	地域住民、 経済界等関係者	第2回ワークショップ： 令和元年7月27、28日 第3回ワークショップ： 令和元年9月21、22日	グループ毎に 意見のとりまとめ	旧鳥取市・旧福部村地区の代表者（地区代表） ※旧地区代表者を含む	22名／20名 (第2回／第3回)	
				旧鳥取市・旧福部村地区の代表者（一般公募）	9名／8名	
				旧鳥取市・旧福部村地区の代表者（地区推薦）	5名／8名	
				経済団体、観光協会等	13名／12名	
合計					49名／48名	

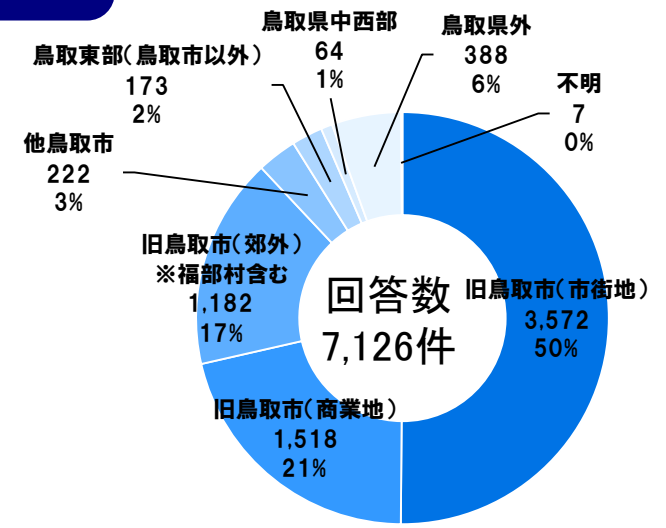
3) アンケート回答者属性

- 住民約5,700人、道路利用者約700人、事業所約700社から合計約7,100件の意見聴取を実施。
- 回答者のうち、鳥取市からの回答が約9割を占める。
- 回答者の性別は約8割が男性であり、年代としては50代までが約4割を占める。

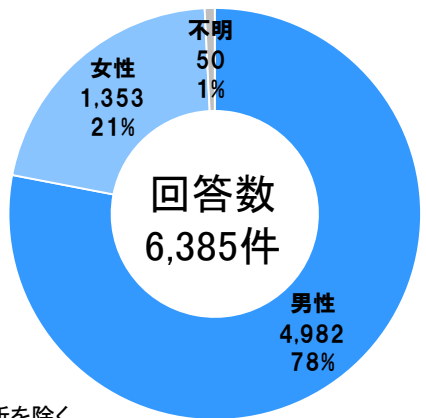
アンケート回収状況



住所

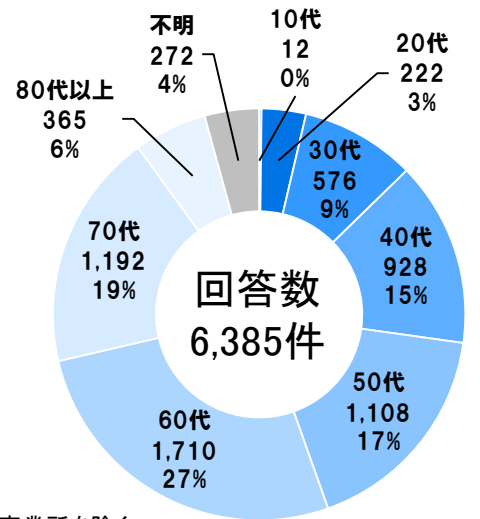


性別



※事業所を除く

年代



※事業所を除く

4) ルート帯(案)を検討する際に特に重視すべき項目(アンケート結果)

- ルート帯(案)を検討する際に重視すべきだと思う事項として、回答属性に共通して「①渋滞が緩和できること」、「②交通事故が起きにくいこと」、「③自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること」、「⑦高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること」について重視する声が多い。
- 上記に加え、事業所は「⑤物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること」も重視する声が多い傾向が見られる。
- 「⑭その他」の項目は少なく、アンケートで設定した項目により、特に重視する項目を確認することができる。

質問1 今回、3つのルート帯(案)を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要と思いますか？
以下の重視すべき項目①～⑭から、特に重視すべきと思われる項目について最大3つまで選んでいただき、番号とその理由や内容をお書きください。

回答属性別

特に重視すべきと思われる項目		全体 (回答数：6,742件)	回答属性別		
			住民 (回答数：5,362件)	事業所 (回答数：682件)	道路利用者 (回答数：698件)
道路整備による効果・改善点	① 渋滞が緩和できること (4,497件)	66.7%	65.2%	72.6%	72.8%
	② 交通事故が起きにくいこと (2,071件)	30.7%	31.4%	33.6%	23.1%
	③ 自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること (2,430件)	36.0%	37.2%	38.0%	25.2%
	④ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること (1,386件)	20.6%	20.8%	18.3%	20.8%
	⑤ 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること (1,209件)	17.9%	16.7%	30.2%	15.6%
	⑥ 農林水産物の生産拠点などから消費地までの時間を短縮し、市場を拡大すること (216件)	3.2%	3.0%	4.5%	3.6%
	⑦ 高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること (1,973件)	29.3%	29.6%	21.1%	34.4%
	⑧ 移動の利便性向上により、周遊性が向上すること (1,221件)	18.1%	18.2%	12.5%	22.6%
配慮すべき事項	⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと (389件)	5.8%	6.3%	3.5%	3.6%
	⑩ 景観への影響が少ないこと (257件)	3.8%	3.8%	2.6%	5.2%
	⑪ 人口集中地区を極力さげること (717件)	10.6%	11.3%	8.7%	7.7%
	⑫ 工事中の交通渋滞の影響が少ないこと (614件)	9.1%	8.9%	11.3%	8.7%
	⑬ 道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと (1,281件)	19.0%	21.1%	12.6%	9.5%
	⑭ その他 (159件)	2.4%	2.2%	2.1%	3.9%

※質問1に回答した人を対象に集計しているため、全回答者数7,126人と一致しない

4) ルート帯(案)を検討する際に特に重視すべき項目(アンケート自由意見とヒアリング結果①)

分類	理由や内容
<p>① 渋滞が緩和できること 【1,885件】</p>	<p>朝夕の通勤時間帯、及びGWなどの長期休日期間の渋滞が日常生活に影響している。(住民/旧鳥取市(商業地)/50代男性)</p> <p>鳥取では車での通勤者が多く、朝・夕方に発生する交通渋滞によって、時間の浪費や事故の原因となっている。(事業所/旧鳥取市(市街地)/サービス業)</p> <p>ラッシュ時、週末において渋滞がひどい。大型連休時は、移動すら困難となる。(道路利用者/旧鳥取市(商業地)/30代男性)</p> <p>渋滞の緩和が出来れば、救急医療とか物流、大気・騒音等、その他の項目についても効果が出ると思う。工事中の渋滞、建設費も大事だとは思いますが、まずは渋滞緩和が大事。(ヒアリング/商工会議所・商工会)</p> <p>特に町中の渋滞緩和をお願いしたい。路線バスの定時性が向上すると会社としてありがたい。(ヒアリング/バス事業者)</p>
<p>② 交通事故が起きにくいこと 【757件】</p>	<p>交通事故が起これば交通渋滞が発生することになり通行の支障となる。人的、物的、時間的なロスが発生する。(住民/旧鳥取市(市街地)/60代男性)</p> <p>鳥取では、年齢、性別を問わず車が必要であり、そのため交通事故のリスクを下げることは、安心安全な生活に直結しているため。(道路利用者/旧鳥取市(市街地)/40代男性)</p> <p>交通事故が起きにくいことは、日常生活するうえで、とても安心なことである。(住民/旧鳥取市(郊外)/40代男性)</p> <p>交通事故もないようにしてほしい。事故が起きると、何時間も通行できなくなる。(ヒアリング/運送業者)</p>
<p>③ 自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること 【1,040件】</p>	<p>近年の自然災害の多さを考えると、千代川が氾濫してしまうのも全くないことでは無い。広範囲で浸水することを考えたら、絶対に代替路は必要。(住民/旧鳥取市(市街地)/40代女性)</p> <p>事故や自然災害、積雪などで渋滞が発生し、身動きが取れなくなることは避けたい。代替路確保は必要と思われる。(道路利用者/鳥取東部(鳥取市外)/40代男性)</p> <p>災害時の迂回路が増えるとありがたい。(ヒアリング/地元企業・工場)</p> <p>代替路のない一本道はトラック事業者は困る。(ヒアリング/トラック協会)</p>
<p>④ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること 【493件】</p>	<p>渋滞による救急搬送の時間が数分でも短縮できれば、定時性や安静搬送の課題は解消できる。(住民/旧鳥取市(市街地)/60代男性)</p> <p>地元では大きな病院がないのでそれを考えると救急時の搬送の重要性が高いと思うから。(道路利用者/鳥取県外/40代男性)</p> <p>病院間の搬送として豊岡から米子まで移動するので、病院間のアクセスが良いといい。(ヒアリング/病院)</p> <p>国道9号経由で県立中央病院への搬送が多い。夜間の救急で中央病院、市立病院などへ搬送がし易くなる。(ヒアリング/消防署)</p>

4) ルート帯(案)を検討する際に特に重視すべき項目(アンケート自由意見とヒアリング結果②)

分類	理由や内容
<p>⑤ 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること 【492件】</p>	<p>国道9号・29号の信号により、アクセス時間が増える事は物流に悪影響。(事業所/旧鳥取市(商業地)/運輸業・郵便業)</p> <p>他県との行き来をしやすくし、物流・コスト面・他県企業との取引を容易にしたい。(事業所/旧鳥取市(郊外)/製造業)</p> <p>物流だけでなく、商工事業者にとっても移動時間が読みやすくなるのは大きい。(事業所/鳥取東部(鳥取市以外)/卸・小売業)</p> <p>物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援することが重要。ツインポートへのアクセスが利用促進にもつながることに期待する。(ヒアリング/商工会議所・商工会)</p>
<p>⑥ 農林水産物の生産拠点などから消費地までの時間を短縮し、市場を拡大すること 【80件】</p>	<p>鳥取豊岡宮津自動車の沿線は、魚類や農作物の産地が多く、流通の機能を高めることが必要である。(住民/旧鳥取市(市街地)/60代男性)</p> <p>大都市からのアクセスを向上させることにより、農林水産物の取扱量が増加することが見込まれ、経済的な発展が期待できる。(事業所/鳥取東部(鳥取市以外)/卸・小売業)</p>
<p>⑦ 高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること 【830件】</p>	<p>鳥取IC、鳥取西ICから鳥取砂丘への道は、一般道で信号も多くアクセスが悪い。(住民/旧鳥取市(市街地)/60代男性)</p> <p>観光地への来訪者にとって、アクセス性や定時性、快適性は欠かせません。広域観光を命脈とする鳥取県にとり、重要な視点です。(道路利用者/旧鳥取市(市街地)/50代男性)</p> <p>広域観光を促進することにより、県外・県内の人の動きが活発になるため。(住民/旧鳥取市(市街地)/50代男性)</p> <p>広域観光の推進を期待している。費用面も大事だが、砂丘へ行きやすい道路が必要と思う。(ヒアリング/観光協会)</p>
<p>⑧ 移動の利便性向上により、周遊性が向上すること 【413件】</p>	<p>周遊性が向上することにより、観光促進につながると考える。(住民/旧鳥取市(市街地)/70代男性)</p> <p>観光地や周辺の店に立ち寄る時間が増え、経済効果につながる。(道路利用者/鳥取県外/70代男性)</p> <p>鳥取港を利用するクルーズ船のオプションツアーを検討する上でも周遊性の向上は重要。西道路開通で周遊性は向上したものの、中部までが限界。朝～夕方までの時間帯で可能な移動時間は1～1.5時間程度。また、境港に入港するクルーズの主なオプションツアー先は、出雲大社方面の西側が主体で、鳥取方面(砂丘方面)のツアーもあるが滞在時間が限られるため、人気は低い状況にある。(ヒアリング/港湾)</p>

4) ルート帯(案)を検討する際に特に重視すべき項目(アンケート自由意見とヒアリング結果③)

分類	理由や内容
<p>⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと 【147件】</p>	<p>新道路建設に伴う混雑(既存道)交通事故、騒音等、住環境の悪化は極力抑制する必要がある。(住民/旧鳥取市(商業地)/70代男性)</p> <p>車両の通行量が増加すると、排気ガス、騒音の問題は避けられない。従って当然配慮の上の計画は望ましい事と思う。(事業所/旧鳥取市(商業地)/建設業)</p>
<p>⑩ 景観への影響が少ないこと 【98件】</p>	<p>鳥取の景観の美しさや貴重さを十分に認識し、景観への影響が少ないことが望ましい。(住民/旧鳥取市(郊外)/50代男性)</p> <p>美しい山陰海岸国立公園の景観を壊さないようにして下さい。(事業所/旧鳥取市(商業地)/学術研究, 専門・技術サービス業)</p>
<p>⑪ 人口集中地区を極力さけること 【297件】</p>	<p>人口集中地区を避けることで郊外への利便性を上げるべきだと思う。(住民/旧鳥取市(市街地)/40代男性)</p> <p>交通事故防止の為に、人口集中地区は極力さけるべき。(住民/旧鳥取市(商業地)/60代男性)</p> <p>住民の環境保護や移転費用などを考慮して、人口集中地区は避けるべきである。(道路利用者/旧鳥取市(商業地)/60代男性)</p>
<p>⑫ 工事中の交通渋滞の影響が少ないこと 【189件】</p>	<p>市街地であり、現状でも時間帯・曜日によってはかなりの混雑を感じる。工事によって渋滞悪化されては本末転倒。仕方ない場面はあるかもしれないが最低限になるよう工夫してほしい。(道路利用者/旧鳥取市(市街地)/40代男性)</p> <p>一時の規制は仕方ないと思うが、一日中何年も続くような工事渋滞は市民生活に影響が大きいと思う。(ヒアリング/農協)</p>
<p>⑬ 道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと 【634件】</p>	<p>今後の少子化等、人口の減少を考えやはり建設・維持管理に要する費用が安いことが大事です。(住民/旧鳥取市(郊外)/60代男性)</p> <p>建設費用、維持管理費用は、どの案であっても低くおさえるよう検討していただきたい。費用が安い案に決めるというのではなく、選んだ案の中で経費をおさえる方法を模索していただきたい。(住民/旧鳥取市(郊外)/60代男性)</p> <p>維持管理費が安くなるような工法の利用を重視すべきだと思います。(住民/旧鳥取市(商業地)/50代男性)</p> <p>市街地を迂回しないといけないのである程度の建設費用は仕方ないものの、維持管理費用も含めて全体的な費用を抑えてほしいと思うから。(道路利用者/旧鳥取市(郊外)/20代男性)</p>
<p>⑭ その他の主な意見 【156件】</p>	<p>可能な限り、早期に整備することが必要であり重要。(住民/旧鳥取市(市街地)/50代男性)</p> <p>都市中心部からのアクセス性が良いこと。(住民/旧鳥取市(市街地)/50代男性)</p> <p>中心市街地の活性化や市街地拡大の防止。(住民/旧鳥取市(市街地)/40代男性)</p> <p>一車線で追い越せない道路が多いので車線を多めに作ってほしい。(道路利用者/他鳥取市/60代男性)</p>

4) ルート帯（案）を検討する際に特に重視すべき項目（自治体ヒアリング）

○自治体からは、「渋滞緩和」や「事故削減」、「物流の効率化による地域経済の活性化」、「農林水産業の持続的発展」、「観光周遊性の向上」、「救急医療活動の支援」、「災害時の代替路の確保」などに関する意見が寄せられている。

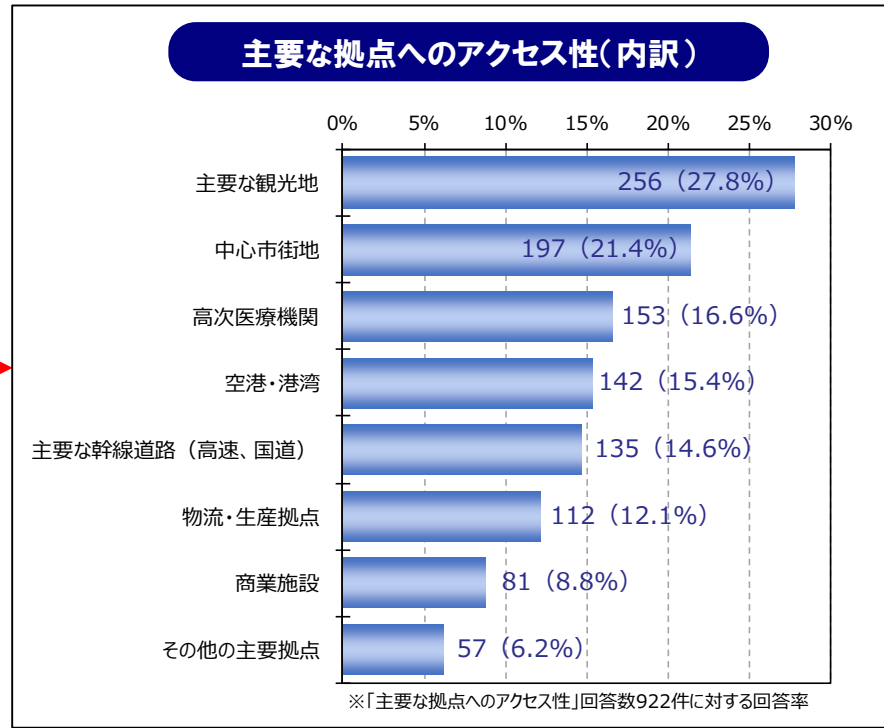
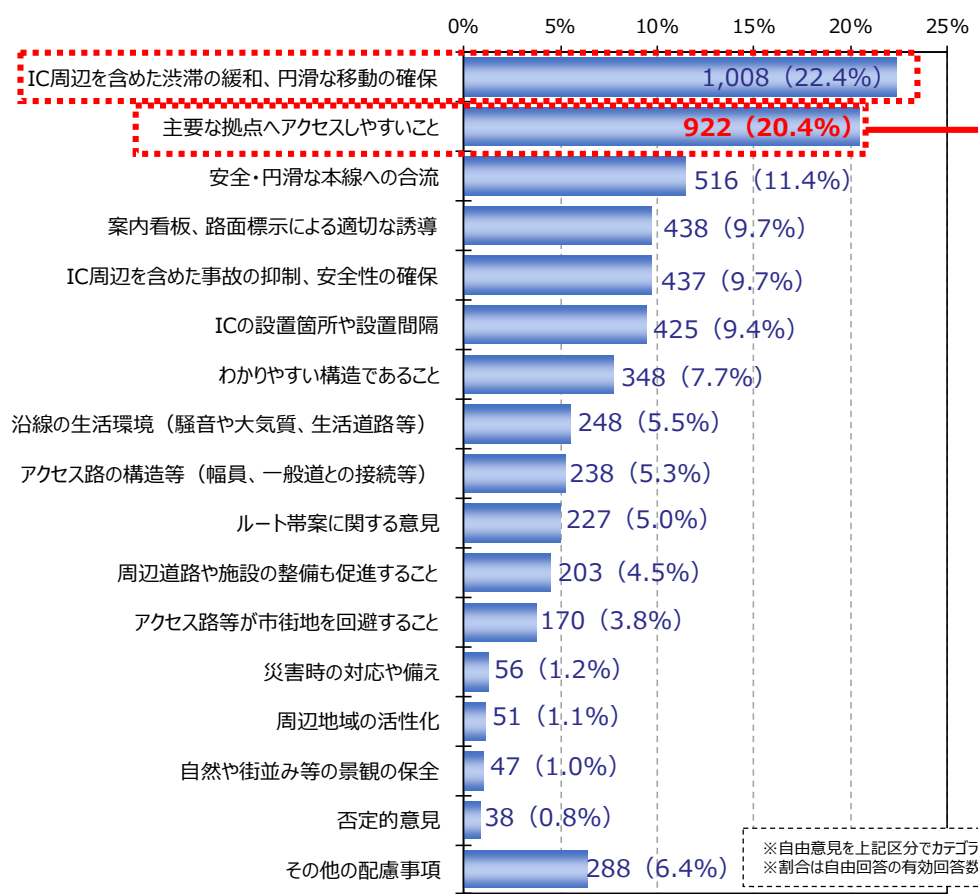
自治体	主な意見（重視すべき事項）
鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ○路線バスにおいて、渋滞緩和は外せない項目で定時性が重要。国道9号を利用するバス路線は、ループ麒麟獅子、空港連絡、イオン北店行き。湖山街道沿線にも主要な路線があるが、渋滞緩和をお願いしたい。 ○境、網代、賀露から関西・関東圏への輸送は、指定された時間に届ける必要があるため、渋滞が解消されれば市場拡大に繋がっていくものと思われる。 ○鳥取砂丘の観光客は年間約100万人で、県外観光客の8割は中国・近畿方面で、車かバス利用がほとんどである。ゴールデンウィーク等大型連休時の渋滞対策が課題となっている。 ○鳥取市内では水害、地震が主な災害と想定され、災害時の代替路という点では、案1・2が望ましい。
鳥取市	<ul style="list-style-type: none"> ○渋滞緩和による公共交通機関の定時性の確保が進めば、マイカー通勤から公共交通機関への切り替えが促進される。また、市内の事業所は労働力人口が減少する中、従業員確保に苦慮している。求職者にとっても、通勤時間の長短が就業先を決める要因の一つになることから、市内の交通渋滞の緩和が必要不可欠である。 ○事故により、あらゆる道路機能が止まり、多大な影響を受けている。 ○近年は想定外の豪雨や局地的・継続的な降雨など、これまで経験したことがない自然現象による災害発生が頻繁に起こっている。そうした中、通行止めなどが発生した場合でも、孤立集落の発生リスクの回避や医療機関への搬送を可能とするなど、代替路の確保が必要と考える。 ○三次救急を担う鳥取県立中央病院への搬送時間が短縮され、また走行性の向上による傷病者への負担が軽減されると考えられる。 ○物流時間の短縮による商圏の大幅な拡大（岡山北部・倉吉・連携中枢都市圏域など）、店舗立地条件を満たすエリアが拡大することによる出店者の増加などによる地域経済の活性化が期待できる。昨年7月の豪雨では、鳥取自動車道が遮断されたため、鳥取県東部、鳥取市内の物流に多大な影響が発生。企業誘致や産業活動には物流が確保されることが重要であるため（全線バイパス化のルート案は拠点へのアクセス性に優れる）適切なICの配置による拠点や主要交通インフラへのアクセス性を高めることが必要。 ○農業生産者の所得向上のためには、生産量の増加と販路拡大がポイントであり、そのためには、物流を支えるインフラの整備が必要となる。また、今後の林業振興においても、木材搬出の更なる活性化が必要であり、十分な搬出ルートの確保が求められる。水産業においても、鳥取港への集荷から各取引先への輸送工程の効率化は重要課題である。移動時間の短縮、出荷先の増加等を可能とする南北線の整備は、本市の第一次産業の持続的発展にとって必須事項である。 ○観光客の移動時間が短縮され、観光地への滞在時間（周遊時間）の延長につながる。 ○5月の山陰道鳥取西道路の全線開通と併せ、鳥取県東部、但馬、京都北部の各地方生活圏を結ぶ山陰近畿自動車道の整備の進展によるアクセスの向上により、連携中枢都市圏域だけでなく、岡山北部、倉吉方向においてますます交流人口の増加が図られる。

5) ICなど周辺からのアクセスを検討する際に配慮すべき事項 (アンケート自由意見とヒアリング結果)

- アクセス検討時に配慮すべき事項は「IC周辺を含めた渋滞の緩和、円滑な移動の確保」、「主要な拠点へアクセスしやすいこと」などの意見が多く寄せられている。
- 「主要な拠点」の内訳は主要な観光地が最も多く、次いで中心市街地、高次医療機関、空港・港湾、主要な幹線道路、物流・生産拠点、商業施設となっている。

質問2 インターチェンジなど周辺からのアクセスを検討する際に、どのようなことに配慮すべきと思いますか？ご自由にお書きください。

分類別の回答件数



※自由意見を上記区分でカテゴリ化し、それぞれの件数を集計
 ※割合は自由回答の有効回答数4,509件に対する回答率

5) ICなど周辺からのアクセスを検討する際に配慮すべき事項 (アンケート自由意見とヒアリング結果①)

分類	主な意見
IC周辺を含めた渋滞の緩和、円滑な移動の確保【1,008件】	<p>鳥取空港、観光地への利便性を確保するとともに、交通渋滞の緩和が必要。(住民/旧鳥取市(商業地)/50代男性)</p> <p>毎朝、休日の国道29号の渋滞を緩和して欲しい。(住民/旧鳥取市(商業地)/40代女性)</p> <p>国道29号、千代水地区の交通渋滞の緩和に配慮。(住民/旧鳥取市(商業地)/40代男性)</p> <p>インターチェンジ周辺の交通渋滞が起こらないよう配慮すること。(住民/旧鳥取市(市街地)/50代男性)</p> <p>渋滞緩和という観点でICを検討してほしい。ICをつくることで新たな渋滞を発生させないように配慮してほしい。(ヒアリング/自治体)</p>
主要な拠点へアクセスしやすいこと【922件】	<p>鳥取砂丘が近いので、観光に来られた方がインターに乗るのに、時間がかからなく、スムーズに自動車道に乗れる様工夫して欲しい。(住民/旧鳥取市(市街地)/40代男性)</p> <p>中心市街地活性化の観点から、鳥取駅周辺、とりぎん文化会館など中心市街地の主要施設へのアクセスを考慮して欲しい。(住民/旧鳥取市(郊外)/50代男性)</p> <p>インターは病院に近いところが良いと思います。高齢社会なので便利が良い場所がいいです。(道路利用者/鳥取県外/70代女性)</p> <p>物流拠点へのアクセス性が向上することは、狭い道を大型トラックがすりぬけることを少なくし、安全性が増すと思う。仕入れ等、物流に頼っているので、アクセスの向上は、その意味でも企業にはよい。(事業所/旧鳥取市(商業地)/サービス業)</p> <p>周遊人口を更に増加させるため、鳥取空港・鳥取駅など交通結節点への配慮。(ヒアリング/自治体)</p> <p>観光地である鳥取砂丘、空港・港、物流拠点の千代水、中心市街地である鳥取駅へのアクセスのためのICが必要と思う。(ヒアリング/商工会議所・商工会)</p>
安全・円滑な本線への合流【516件】	<p>高速道へスムーズな合流ができる工夫が必要。(道路利用者/他鳥取市/60代男性)</p> <p>高齢者でも、わかり易く、安全に合流出来る様にして欲しい。(住民/旧鳥取市(市街地)/40代女性)</p>
案内看板、路面標示による適切な誘導【438件】	<p>最近のインターチェンジは乗り降りが複雑。わかりやすい看板、サインをお願いしたい。(住民/旧鳥取市(市街地)/40代男性)</p> <p>インターチェンジから観光地までスムーズに行けるよう分かりやすい案内があると良いと思います。(住民/旧鳥取市(市街地)/30代女性)</p>
IC周辺を含めた事故の抑制、安全性の確保【437件】	<p>交通の便がよくなれば、車の台数が増えるので事故の可能性が増えるので配慮すべきだと思う。(住民/旧鳥取市(商業地)/40代女性)</p> <p>インターチェンジ付近の交通事故。(住民/旧鳥取市(市街地)/60代男性)</p>
ICの設置箇所や設置間隔【425件】	<p>周辺の一般道からのアクセスを良くして、簡単に主要道へ合流することができることに配慮してもらいたい。(住民/旧鳥取市(市街地)/50代男性)</p> <p>インターチェンジ周辺の市町村の人が利用しやすいような位置に設置してほしい。(住民/旧鳥取市(市街地)/70代男性)</p>

5) ICなど周辺からのアクセスを検討する際に配慮すべき事項（アンケート自由意見とヒアリング結果②）

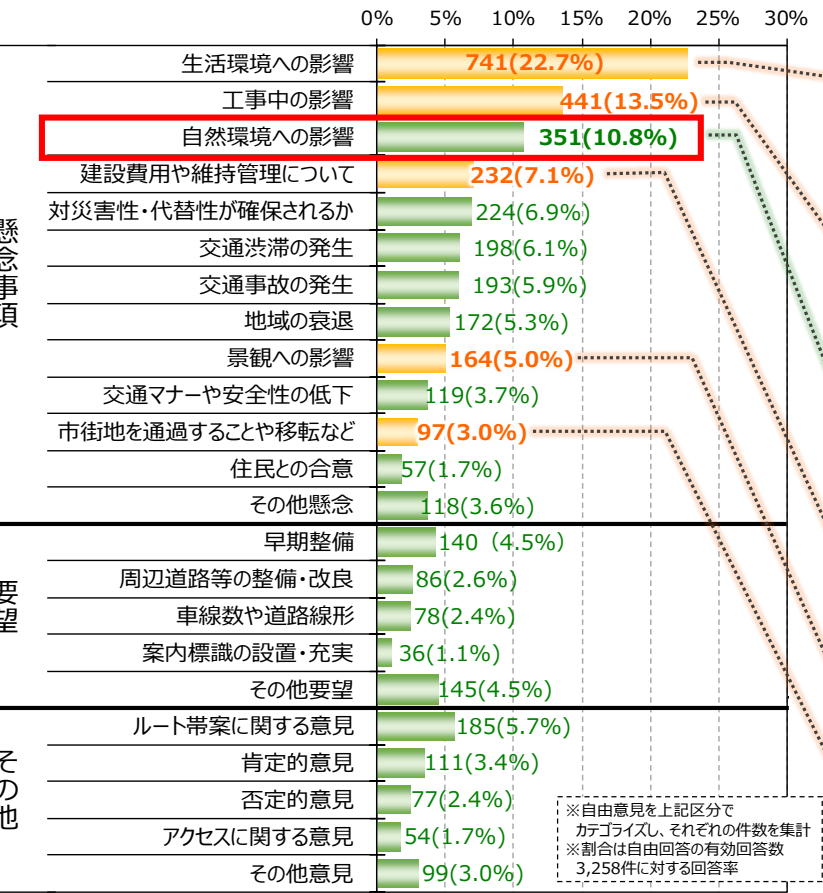
分類	主な意見
わかりやすい構造であること【348件】	現在、交通が集中している箇所は避けまた、複雑でわかりにくい構造にならないよう シンプル な構造としてほしい。（住民／旧鳥取市(郊外)／50代男性） 高齢社会だから出来るだけ 分かりやすいアクセス方法（手段） を考慮すべき。（住民／旧鳥取市(商業地)／70代男性）
沿線の生活環境【248件】	排気ガスや騒音・振動等に対する沿道環境対策 を十分に行う。（事業所／他鳥取市／建設業） インターチェンジ付近の 住民の生活に極力支障が出ないように配慮 すべきと思います。（住民／旧鳥取市(商業地)／40代男性）
アクセス路の構造等【238件】	高架構造等により、平面交差は少なくする。（住民／旧鳥取市(市街地)／60代男性） 一般道へ合流するための車列がこの道路まで影響しないようランプウェイには工夫が必要、また、一般道の信号待ちが長くないような形状を考えていただきたい。（住民／旧鳥取市(商業地)／40代男性）
周辺道路や施設の整備も促進すること【203件】	インターチェンジの 出入口周辺の道路整備が必要 である。（住民／旧鳥取市(市街地)／50代男性） 大型車が止まれるガソリンスタンドや、休憩・休息の取れる施設 がほしい。（事業所／鳥取県外／運輸業・郵便業）
アクセス路等が市街地を回避すること【170件】	人口集中地区を極力避ける 。（住民／旧鳥取市(商業地)／60代男性） 住宅地は避けた方が良い 。（住民／旧鳥取市(市街地)／30代男性）
災害時の対応や備え【56件】	災害に強い事はもちろん、 災害時に物流の拠点 になるよう整備する。（住民／旧鳥取市(商業地)／60代男性） 災害時には県外から支援物資をいただくことになるが、それらを県内に流通させるため、他の幹線道路とスムーズに接続されることが必要 。（ヒアリング／自治体）
周辺地域の活性化【51件】	県内外から多くの観光客が来た時に 宿泊する施設が少ない ので、検討してほしい。（住民／旧鳥取市(郊外)／50代女性） アクセスが良くなれば企業誘致もしやすくなる為、 誘致用地（工業団地）の整備 も行うべき。（事業所／旧鳥取市(郊外)／建設業）
自然や街並みなどの景観の保全【47件】	景観に配慮をしながら、利便性の良い機能を望みたい 。（住民／旧鳥取市(郊外)／60代男性） 町並みを分断しないこと。生活道路は残すこと。 景観を壊さないこと 。（住民／旧鳥取市(市街地)／80代男性）
否定的意見【38件】	人が少ないし、あまり車も走らないので、道路ばかり作らなくてもよい。（住民／旧鳥取市(市街地)／40代男性）
その他配慮事項【288件】	建設に要する費用が安いこと。（住民／旧鳥取市(商業地)／60代男性） 工期が長期間とならない様にする。完成を早くする。（住民／旧鳥取市(郊外)／60代男性） 地域住民から十分な意見を聞き、反映出来ればと思います。（住民／旧鳥取市(商業地)／60代男性） なるべく既存するインフラを最大限活用する事が望ましいと思う。（住民／旧鳥取市(市街地)／年齢不詳男性）

6) 道路を整備することによる懸念事項 (アンケート自由意見とヒアリング結果)

- ルート帯(案)を検討する際に重視すべき項目(配慮すべき事項)に設定している「生活環境への影響」や「工事中の影響」、「費用や維持管理について」に関する意見が多く寄せられている。
- 上記以外の意見としては、「自然環境への影響」に関する意見が多く、全体でも3番目に位置している。

質問3 道路を整備することによる懸念事項(生活環境、自然環境等)がありましたら、ご自由にお書きください。

分類別の回答件数



※自由意見を上記区分でカテゴライズし、それぞれの件数を集計
 ※割合は自由回答の有効回答数 3,258件に対する回答率

分類	『重視すべき項目(配慮すべき事項)』と『自然環境への影響』の主な意見
生活環境への影響 【741件】	周辺の騒音とか振動に気を付けてもらいたい。完成してから問題が出ない様をお願いします。(住民/旧鳥取市(市街地)/70代女性)
	沿線が騒音や排ガスになるべく晒されない配慮はもちろんながら、高架になる場合は周辺の日照についても特段の配慮が必要と思う。(住民/旧鳥取市(市街地)/50代男性)
	道路が出来たことにより、地域が分断されないようにしてほしい。(住民/旧鳥取市(郊外)/60代男性)
工事中の影響 【441件】	住宅地などの生活道路への車の流入も想定される。(ICに入る・出るために近道を利用する車など)排気ガス・騒音・事故対策が必要。(住民/旧鳥取市(市街地)/40代男性)
	整備中の工事期間に渋滞等発生し、産業や観光振興に影響が出ないように欲しい。(住民/旧鳥取市(市街地)/60代女性) 工事用の車両も多くなるので、交通事故のないように対策をしっかりと行ってほしい。(住民/旧鳥取市(市街地)/年齢不詳男性)
自然環境への影響 【351件】	道路整備による自然環境の破壊が心配。(住民/旧鳥取市(市街地)/30代男性)
	自然環境が鳥取の良さの一つなので、道路を作るために自然破壊し、動植物への影響がないようにしてほしい。(住民/旧鳥取市(市街地)/50代女性) 千代川に新しい橋を建設するのであれば自然環境、生物の保護等に十分留意して欲しい。(住民/旧鳥取市(市街地)/80代男性)
費用や維持管理 について 【232件】	建設費が安い事は大切だが、一番大切なのは、地域のため、利用者のためになること。良い道路となるよう考えて欲しい。(住民/旧鳥取市(市街地)/50代男性)
	高速道路の整備により便利になると思いますが、建設後、長期にわたる維持管理には、小さな県・市としては不安を覚えます。(住民/旧鳥取市(商業地)/60代女性)
景観への影響 【164件】	海あり、山あり、田畑ありで、とても自然に恵まれた地域であるので、この田舎の景観は維持してほしい。(住民/旧鳥取市(市街地)/60代女性)
市街地を通過すること や移転など【97件】	人口集中地区(住宅地区)は避けたルートが望ましい。事務所の移転は致しかたないが、住宅家屋の移転は極力少なく。(事業所/旧鳥取市(市街地)/学術研究、専門・技術サービス業)

※ 質問1における「重視すべき項目(配慮すべき事項)」

6) 道路を整備することによる懸念事項（アンケート自由意見とヒアリング結果）

分類	『重視すべき項目（配慮すべき事項）以外』の主な意見
対災害性・代替性が確保されるか【224件】	千代川より、高さは十分取って欲しい。 災害に遭わない様な構造 にして欲しい。（住民／旧鳥取市(郊外)／70代男性） 災害時に使用できない道路では意味がない。とにかく、 災害に強い道路になるかが不安 。（住民／旧鳥取市(市街地)／20代男性）
交通事故の発生【198件】	交通事故が起きにくい道路 にしてほしい。交通事故が増えることが心配。（住民／旧鳥取市(市街地)／60代男性） 交通量増加、平均速度上昇による交通事故の増加 。（住民／旧鳥取市(市街地)／50代男性）
渋滞の発生【193件】	逆に交通量が増えて、 渋滞が起こり易くはならないか 。GW、冬の積雪時、住民の普通の移動さえ大変な時がある。（住民／旧鳥取市(市街地)／60代女性） 新たな交通渋滞（交通集中）を発生 させないものとしてほしい。（住民／旧鳥取市(市街地)／40代男性）
地域の衰退【172件】	新たな道路整備により、 旧道となる路線に立地する商店等への経営悪化 が懸念される。（住民／旧鳥取市(郊外)／50代男性） 道路ができる事により、逆に 交通量が減ってしまう可能性のある地域の空洞化 が懸念される（事業所／鳥取東部(鳥取市以外)／卸・小売業）
交通マナーや安全性の低下【119件】	整備による交通の円滑化により スピードが向上する一方で安全性の欠如 に向かうおそれ。（住民／旧鳥取市(商業地)／50代男性） 現在国道9号を走っている 長距離トラック等が生活道路に使っている道路を走るようになるのは心配 。（住民／旧鳥取市(市街地)／年齢不詳女性）
住民との合意【57件】	ルート帯整備案が、ほぼ確定した時点においては、 関係する地域、住民への説明会 を早期に開催し、わかりやすい言葉で詳細を説明し、理解・納得してもらえるまで、何度も何度も丁寧に対応して欲しいと思います。（住民／旧鳥取市(郊外)・70代男性）
その他懸念【118件】	立体化により、複雑になると、運転しにくい場面もあるので、 わかりやすく表示案内 してほしい。（住民／旧鳥取市(郊外)／50代女性） 調査・設計を十分に行ない、 やり直し工事を行わないこと 。（住民／旧鳥取市(市街地)／60代男性）
早期整備【140件】	自然環境に配慮しつつも、魅力ある地域にするためには、是非道路整備を早急にすすめるべきと考えます。（事業所／他鳥取市／金融業・保険業）
周辺道路等の整備・改良【86件】	山陰道整備により 県外車が増加 する。市内の一般道の整備も併せてお願いしたい。（住民／旧鳥取市(市街地)／60代男性）
車線数や道路線形【78件】	一車線だと、みんなと同じスピードを出さないといけない 為 疲れる。出来れば 二車線化 をお願いしたい。（住民／旧鳥取市(商業地)／60代女性）
案内標識の設置・充実【36件】	地元民の生活道路としての利用と、県外からの観光利用が同じ道路を利用することになり、 標識案内の一層の充実 を図る必要がある。（住民／旧鳥取市(市街地)／60代男性）
その他要望【145件】	将来の居住・人の流れを予測した道路整備をお願いいたします。（住民／旧鳥取市(市街地)／50代女性）
肯定的意見【111件】	環境変化や騒音を懸念する声ができると思うが、道路整備による メリットのほう が大きいと思われる。（住民／旧鳥取市(市街地)／年齢不詳男性）
否定的意見【77件】	人口規模に対して、 過大なライフライン に思える。（住民／旧鳥取市(市街地)／40代男性）
アクセスに関する意見【54件】	山陰道、鳥取環状道路が相互に使用出来るように 接続 されること。（住民／旧鳥取市(市街地)／60代男性）
その他意見【99件】	生活道路と幹線道路・高速道路の役割を分離、 明確にした計画 。（道路利用者／鳥取県外／30代男性）

7) 第2回意見聴取の結果のとりまとめ

◇対応方針（案）を選定する際に重視・配慮すべき事項

- 住民、事業所、道路利用者に対するアンケート調査において、「①渋滞が緩和できること」、「②交通事故が起きにくいこと」、「③自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること」、「⑦高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること」について、重視する声が多く寄せられた。

	特に重視すべきと思われる項目	全体 (回答数：6,742件)	回答属性別		
			住民 (回答数：5,362件)	事業所 (回答数：682件)	道路利用者 (回答数：698件)
効果・改善点による	① 渋滞が緩和できること (4,497件)	66.7%	65.2%	72.6%	72.8%
	② 交通事故が起きにくいこと (2,071件)	30.7%	31.4%	33.6%	23.1%
	③ 自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること (2,430件)	36.0%	37.2%	38.0%	25.2%
	④ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること (1,386件)	20.6%	20.8%	18.3%	20.8%
	⑤ 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること (1,209件)	17.9%	16.7%	30.2%	15.6%
	⑥ 農林水産物の生産拠点などから消費地までの時間を短縮し、市場を拡大すること (216件)	3.2%	3.0%	4.5%	3.6%
	⑦ 高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること (1,973件)	29.3%	29.6%	21.1%	34.4%
	⑧ 移動の利便性向上により、周遊性が向上すること (1,221件)	18.1%	18.2%	12.5%	22.6%
配慮すべき事項	⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと (389件)	5.8%	6.3%	3.5%	3.6%
	⑩ 景観への影響が少ないこと (257件)	3.8%	3.8%	2.6%	5.2%
	⑪ 人口集中地区を極力さげること (717件)	10.6%	11.3%	8.7%	7.7%
	⑫ 工事中の交通渋滞の影響が少ないこと (614件)	9.1%	8.9%	11.3%	8.7%
	⑬ 道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと (1,281件)	19.0%	21.1%	12.6%	9.5%
	⑭ その他 (159件)	2.4%	2.2%	2.1%	3.9%

- 上記に加え、懸念される事項に関して、アンケートの自由記述やヒアリング結果では、「自然環境への影響」についての懸念や配慮を求める意見が多く寄せられた。
- また、インターチェンジなど周辺からのアクセスを検討する際に配慮すべき事項について、自由記述やヒアリングによると「IC周辺を含めた渋滞の緩和、円滑な移動の確保」、「主要な拠点へアクセスしやすいこと」などの意見が多く寄せられた。
- アクセスすべき拠点として、政策目標に直結する「主要な観光地」、「高次医療機関」、「空港・港湾」、「物流・生産拠点」に加え、「中心市街地」、「主要な幹線道路」、「商業施設」が挙げられ、日常生活の利便性向上に係る意見が寄せられている。
- その他、「安全・円滑な本線合流」や「適切な案内誘導」、「地域分断」などに関するご意見をいただいております。今後の具体的なルート・構造の検討時に配慮する必要がある。